

① 広範な交流・連携の促進

継続	ぶり奨学プログラム事業費	356万円
		(前年度) 599万円
担当課	地方創生推進課	電話番号 74-8011


1. 本市の現状と課題
 大学等への進学時に氷見市を離れ、そのまま戻らない若者が多く、人口減少の要因の1つとなっています。氷見市で育った子どもたちが更なる成長のために進学し、氷見市に戻ってふるさとの未来のために活躍できるよう、学生と仕事を結び付け、Uターンを促進する必要があります。

2. 令和2年度事業の内容
 ぶり奨学プログラムを3年間の社会実験として継続するなかで、より利用しやすい制度となるよう改善していきます。プログラム登録者との交流会では、目指す職種ごとの座談会を企画するなど、就職支援事業の充実を図ります。また、広報の強化を行い、登録者の増加を目指します。

3. 目標値または実施により求める効果
 ぶり奨学プログラムがあることで氷見市に戻ってくる若者の人数を増やします。

(単位: 万円)

財源	基金繰入金	99	経費内訳	補助及び交付金	314	
	市の負担	257		食糧費	22	
			その他	20		



ぶり奨学プログラム登録者募集中

継続	ふるさと定住促進事業費	7,372万円
		(前年度) 7,654万円
担当課	地域振興課	電話番号 74-8075


1. 本市の現状と課題
 本市では、少子化の進行や転出超過により急激な人口減少が進んでおり、若年世帯や子育て世帯の定住率の向上や、市外からの移住者の増加による社会減の圧縮が喫緊の課題となっています。このため、主に住まいの分野において移住者や若者、子育て世帯への支援を行うことにより、定住人口の拡大を目指しています。

2. 令和2年度事業の内容
 子育て・新婚世帯等の転入者や市内在住者の住宅取得、三世帯同居・近居のための住宅取得に要する経費への助成のほか、転入者の住宅の賃貸等に要する経費を助成し、移住・定住を促進します。

3. 目標値または実施により求める効果
 市民の転出の抑制と転入者の増加による社会減の圧縮を図ります。
 (UIターン者40名の獲得を含む社会減150名の圧縮)

(単位: 万円)

財源	国の負担	169	経費内訳	補助及び交付金	6,826	
	市の負担	7,203		報償費	500	
			負担金	46		



定住マイホーム取得支援補助金など

① 広範な交流・連携の促進

継続	移住定住促進事業費	1,751万円
		(前年度) 2,248万円
担当課	地域振興課	電話番号 74-8075


1. 本市の現状と課題
氷見市では、人口減少問題に対応し、市民の希望をかなえ持続可能な社会を実現していくため、社会減の抑制が必要となっています。その方策の一つとして、Uターン者を含む移住者を新たに呼び込み、移住定住の促進に取り組んでまいります。

2. 令和2年度事業の内容
移住相談の総合窓口として「氷見市IUU応援センター」を運営し、移住希望者が安心して移住し、定着できるよう総合的にサポートします。また、東京等で開催される回帰フェア等のイベントに参加し、当市の魅力を伝えるとともに、移住希望者のニーズに合った住まいが見つかるよう、空き家の掘り起こしなどを行います。

3. 目標値または実施により求める効果
移住者(Uターン者を含む)について、年間40人の増加を目指します。

(単位: 万円)

財源	市の負担	1,751	経費内訳	委託料	1,056
				報償費	608
			その他	87	



移住フェア

継続	地方創生移住支援事業費	166万円
		(前年度) 852万円
担当課	地域振興課	電話番号 74-8075


1. 本市の現状と課題
若者を中心に地方から東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県(以下「東京圏」という。)への転出超過が続くとともに、地方において中小企業を中心に人手不足感が高まっています。

2. 令和2年度事業の内容
東京23区にお住まいの方又は東京圏にお住まいで東京23区へ通勤していた方が当市に移住し、中小企業等に就業又は起業した場合に移住支援金を支給します。

3. 目標値または実施により求める効果
UIターンによる起業及び就労の創出を図ることで、更なる移住定住を促進します。

(単位: 万円)

財源	県の負担	122	経費内訳	補助及び交付金	160
	市の負担	44		消耗品費	6



東京圏から氷見市へ移住し
就業・起業

① 広範な交流・連携の促進

拡充	関係人口構築推進事業費	915万円
		(前年度) 793万円
担当課	商工振興課	電話番号 74-8105


1. 本市の現状と課題
 地方では、人口減少や高齢化によって地域づくりの担い手の育成や確保という課題に直面していると言われて
 います。氷見市も例外ではなく、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、様々な形で
 継続的に地域と関わる「関係人口」と呼ばれる方々を獲得し、応援していただきたいと考えています。

2. 令和2年度事業の内容
 氷見きときとファンクラブ(仮称)を設立し、ふるさと納税で寄附していただいた方や氷見市の様々な事業に参加
 された方に加入を呼び掛け、地域と継続的な繋がりを持っていただく機会を提供します。また、昨年度に引続き、
 横浜市や川崎市の中学生を氷見へ招き、氷見を知り愛着を持ってもらう、氷見スタディツアーを実施します。

3. 目標値または実施により求める効果
 500人を目標に、氷見きときとファンクラブ(仮称)の会員になっていただきます。

(単位: 万円)

財源	国の負担	300	経費内訳	委託料	518
	基金繰入金など	495		印刷製本費	132
	市の負担	120		その他	265



氷見スタディツアー参加者のみなさん

継続	氷見市まちづくりバンク事業費	86万円
		(前年度) 89万円
担当課	地域振興課	電話番号 74-8075


1. 本市の現状と課題
 本市では、人口減少問題に対応するため、氷見市人口ビジョンを策定して氷見市に移住される方(UIJター
 ン者)を新たに呼び込むことを重点に移住定住の促進に取り組んでいます。
 そのための拠点として中心市街地に位置する「氷見市まちづくりバンク」を有効活用していきます。

2. 令和2年度事業の内容
 氷見市IJU応援センターの事務所として活用し、移住相談窓口業務等を実施します。

3. 目標値または実施により求める効果
 中心市街地にある立地の良さを生かし、より多くの移住希望者に当センターを訪れていただくことで
 氷見市の暮らし方の魅力を伝え移住につなげていきます。


(単位: 万円)


財源	市の負担	86	経費内訳	使用料及び賃借料	68
				委託料	13
				その他	5



氷見市まちづくりバンク

① 広範な交流・連携の促進

継続	国際交流推進事業費	10万円
		(前年度) 10万円
担当課	観光交流課	電話番号 74-8106
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>交通手段や通信技術の飛躍的な発達に伴い、世界中の人々との距離がますます近くなっています。本市に在住する外国人や仕事で来訪する外国人は今後増え続けると考えられ、それに対応できるよう多種多様な国の人々と広範囲な国際交流の推進や外国人の社会参加を促す仕組みづくりが求められています。</p> <p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>国際交流協会と連携して、市民の国際感覚を養うための事業を実施するほか、市内在住外国人のための日本語教室を行います。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>国際交流イベント等を開催し国際交流を推進します。(目標参加者数540人)</p> <p>市内在住外国人に日常会話を教える日本語教室を開催します。(目標参加者数95人)</p>		
(単位: 万円)		
財源	市の負担 10	経費内訳 負担金 10
		 <p style="text-align: center;">クリスマスパーティの様子</p>

継続	浅野総一郎翁ゆかりの都市等交流推進事業費	165万円
		(前年度) 172万円
担当課	観光交流課	電話番号 74-8106
<p>1. 本市の現状と課題</p> <p>北陸新幹線開業により首都圏との交流人口が拡大しており、また、都市間競争が激化しています。このような中、「九転十起の男」と呼ばれる郷土が生んだ大実業家、浅野総一郎ゆかりの都市や企業との交流を拡大させることが重要となってきています。</p> <p>2. 令和2年度事業の内容</p> <p>川崎市のかわさき市民祭りへの出店参加や、全国浅野総一郎友の会(旧:九転十起交流会)によるひみ寒ぶり交流会(川崎市、横浜市)の開催支援など、浅野翁ゆかりの都市などとの交流促進を図ります。</p> <p>3. 目標値または実施により求める効果</p> <p>浅野翁の功績を顕彰する機運を高めるとともに、ゆかりの都市や企業とのつながりを広げていきます。</p>		
(単位: 万円)		
財源	国の負担 38 市の負担 127	経費内訳 旅費 106 消耗品費 51 使用料及び賃借料 8
		 <p style="text-align: center;">「九転十起の男」浅野総一郎</p>

① 広範な交流・連携の促進

継続	都市と農山漁村交流促進事業費	25万円			
		(前年度)	25万円		
担当課	観光交流課	電話番号	74-8106		
1. 本市の現状と課題					
氷見市の人口減少問題を解消するため、田舎暮らしを希望している都市住民に対し、氷見市への移住を促進していく必要があります。					
2. 令和2年度事業の内容					
幅広い世代から塾生を募集し、氷見市の海と山の豊かな地域資源を体感してもらい、とやま帰農塾(灘浦塾)を継続して実施します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
田舎暮らし体験を希望する都市住民との交流を通して、氷見市のファンを増やし移住につなげることで地域の活性化を目指します。					
(単位: 万円)					
財源	市の負担	25	経費内訳	委託料	25

継続	「とやまの田舎」交流支援事業費	40万円			
		(前年度)	40万円		
担当課	観光交流課	電話番号	74-8106		
1. 本市の現状と課題					
過疎化が進んでいる氷見市の中山間地域を活性化するためには、都市部にはない田舎の魅力を伝え、観光客等を誘致することが重要です。					
2. 令和2年度事業の内容					
久目地区での都市住民との交流活動に対し、助成します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
氷見の地域資源の魅力を、都市部の幅広い世代にPRすることで、関係人口の増加を目指します。					
(単位: 万円)					
財源	県の負担	20	経費内訳	補助及び交付金	40
	市の負担	20			

① 広範な交流・連携の促進

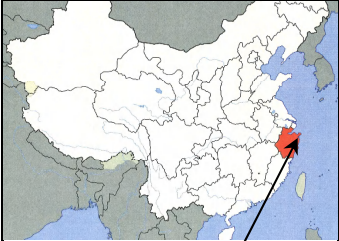
新規	中学生国際友好交流事業費	295万円
		(前年度) -
担当課	教育総務課	電話番号 74-8211

1. 本市の現状と課題
 将来のまちづくりを担う本市在住の中学生10名程度を公募し、中国寧海県に派遣することを通して、海外の歴史、文化、生活に触れることにより、国際理解を深め、広い視野と柔軟な感覚を備えた人間を育成することを目的としています。

2. 令和2年度事業の内容
 寧海県内の中学校で学校生活を体験するとともに、地元中学生との交流や、地元の伝統産業、伝統文化に携わる方々との交流を図ります。

3. 目標値または実施により求める効果
 令和元年11月に友好交流の意向書を取り交わし、今後締結を予定している友好交流協定に基づくもので、氷見市では初めての海外との交流事業となります。

		(単位: 万円)			
財源	雑入	30	経費内訳	委託料	219
	市の負担	265		旅費	70
			報償費	6	



寧海県(浙江省寧波市)


継続	スポーツ少年団交流事業費	52万円
		(前年度) 52万円
担当課	スポーツ振興課	電話番号 74-8446

1. 本市の現状と課題
 姉妹都市(長野県大町市、静岡県島田市)のスポーツ少年団と交流を深めるとともに、各スポーツ少年団の更なる発展を目的として、昭和63年度から各市持ち回りで交流事業を行っています。

2. 令和2年度事業の内容
 氷見市を会場として8月7日から2泊3日の日程で、スポーツや文化交流を通して団員や指導者の交流を深めます。


3. 目標値または実施により求める効果
 氷見市が姉妹都市である両市スポーツ少年団との交流を続け、交流人口の増大やスポーツの振興を図ります。

		(単位: 万円)			
財源	市の負担	52	経費内訳	委託料	52



令和元年度島田市での交流事業

② 国際化の推進と多文化共生の社会づくり

継続	定置網漁業国際協力事業費		72万円
			(前年度) 72万円
担当課		水産振興課	電話番号 74-8102
1. 本市の現状と課題			
<p>水産業振興のため、世界に誇れる持続可能な水産業モデルである越中式定置網漁法を国内外にPRすることで、氷見の漁業のすばらしさ、氷見の魚の品質の良さを広く知らしめる必要があります。また、国際協力・国際感覚の育成の観点から、JICA(国際協力機構)の研修生、インドネシア実習生の受入れに協力しています。</p>			
2. 令和2年度事業の内容			
<p>外国人技能実習生受入支援、「資源管理型漁業コース」JICA研修員の受入(JICA北陸)、「食料安全保障と貧困撲滅のための持続可能な小規模漁業コース」JICA研修員の受入(JICA横浜)等を行います。</p>			
3. 目標値または実施により求める効果			
<p>国際協力を通して、漁業の活性化、地域の活力を創出していきます。</p>			
(単位: 万円)			
財源	市の負担	72	経費内訳
			補助及び交付金 72
			 <p>JICA研修員の表敬訪問の様子</p>